

旧華頂宮邸活用検討協議会ニュース vol. 3

旧華頂宮邸活用検討協議会 平成 23 年 9 月発行

平成 23 年 10 ~ 11 月に実験活用を行います！

第6回から第8回の会議の内容

第6回 旧華頂宮邸における実験活用の企画案について（平成23年4月21日）

旧華頂宮邸の実験活用に向け、これまでの活用事例を踏まえ、各委員がアイデアを出しました。各アイデアの具体的内容及び実現可能性について検討を行いました。

第7回 旧華頂宮邸における実験活用案について（平成23年7月1日）

前回の各委員のアイデアを分類し、実験活用案について検討を行いました。



例) 有料の喫茶店



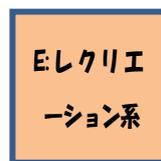
例) コンサート系、演劇系



例) 講座の開設



例) 屋外のイベント、ワークショップ



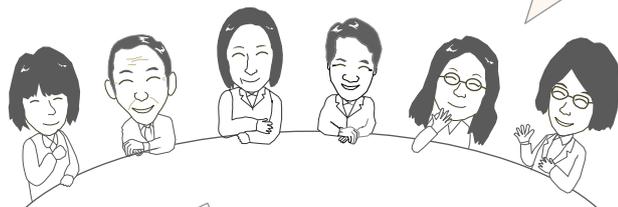
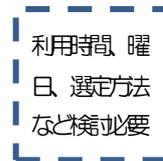
例) お化け大会



例) 展示会場、常時利用施設



まずは、出来ることから始めてみよう。



実験活用案 I

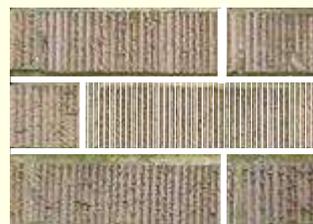
- ・過去に活用事例はあるが、新たな視点も考えてみよう。
- ・横浜国立大学の吉田先生に建物の魅力を話してもらおう。
- ・当時の華頂家の暮らしについて調べてみよう。

実験活用案 II

- ・実施例がないので、新たな取組としてやってみよう。
- ・旧華頂宮邸の周辺を探検してみよう。
- ・ルート安全性などは確保できるだろうか。
- ・宅間ボランティアの会に協力をお願いしてみよう。

旧華頂宮邸の装飾模様

今回ご紹介するのは、1階の外壁に用いられている「スクラッチタイル」の模様です。スクラッチタイルとは、表面を櫛引きして平行の溝を刻んだ湿式成形の無釉煉瓦であり、この建物の特徴です。ぜひ、注目してみてくださいね！



外壁のスクラッチタイル

第8回 旧華頂宮邸における実験活用案について（平成23年9月2日）

前回の実験活用案 I・II について、具体的に詰め、検討を行いました。詳細は裏面をご覧ください。

実験活用Ⅰ 「旧華頂宮邸の魅力学ぶ」

実施日時：平成23年10月22日（土） 午後1時30分から3時まで
 内容：旧華頂宮邸の建物や、その中で暮らしたについて学ぶ講座です。
 講師 吉田鋼市 横浜国立大学大学院教授
 会場：旧華頂宮邸
 対象：市内在住・在勤・在学の人及びその家族
 定員：50人（応募者多数の場合は抽選）
 参加費：無料
 申し込み方法：Eメール・FAX・はがきにて、参加者全員（1回の申し込みにつき4名まで同時応募可能）の氏名と、代表者の住所、電話番号を明記の上、鎌倉市景観部都市景観課「旧華頂宮邸」係まで。締め切りは10月5日（水）必着
 問合せ・申込先：鎌倉市役所景観部都市景観課
 〒248-8686 鎌倉市御成町18番10号
 TEL：0467-61-3477 FAX：0467-23-3247

実験活用Ⅱ 「宅間ヶ谷と旧華頂宮邸探検 ～第11回 親子景観セミナー～」

実施日時：平成23年11月26日（土） 午前10時00分から12時まで
 （小雨決行、荒天の場合は翌日27日に延期）
 内容：旧華頂宮邸とその周辺の宅間ヶ谷を親子で探検して、その魅力を学びます。
 対象：鎌倉市内在住または在学の小学3年生～6年生の児童とその保護者
 協力：宅間ボランティアの会
 ※申し込み方法などの詳細については検討中のため、広報かまくら10/15号または鎌倉市ホームページ（10月15日頃から掲載予定）をご参照下さい。

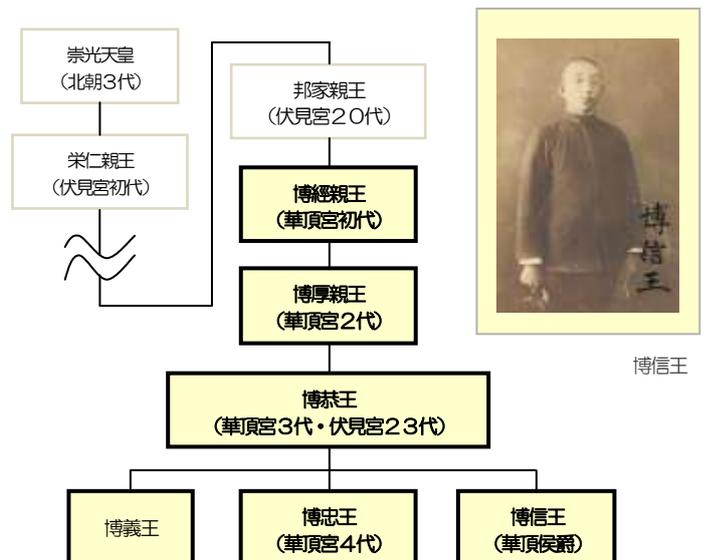
旧華頂宮邸コラム

今回は「華頂宮家」についてです。

華頂宮家は伏見宮邦家親王第12男子、博経親王を始祖とし、伏見宮家の分家にあたります。博経親王は、嘉永5年（1852年）知恩院門跡となり、その後、得度（出家）しましたが、明治元年（1868年）勅命により復飾（俗世間に戻る）して一家を創し、知恩院の山号「華頂山」にちなんで華頂宮の称を賜りました。

博経親王が薨去（皇族・三位以上の人か死亡すること。）した後は、その第1男子、博厚親王がご相続しましたが、明治16年8歳にて薨去されました。このため、伏見宮家から博恭王が3代目を継承しましたが、明治37年に伏見宮へ復帰し、その第2男子博忠王が4代目となりました。

大正13年、博忠王薨去後は断絶していましたが、大正15年、博恭王第3男子、博信王が臣籍（明治憲法下、皇族以外の臣民たる身分）に下って華頂の姓を賜り、侯爵を授けられ、当宮の祭祀を継ぐことになりました。



お知らせ

旧華頂宮邸の建物公開について

平成23年度の秋の建物公開は10月1日（土）、2日（日）の10:00～15:00です。

ぜひ足を運んでみてください！！